

まつ毛エクステンション

まつ毛を長く美しく見せるために行うメイクアップ技術で、まつ毛1本1本に人工毛を装着する技術である。

「つけまつ毛」と異なるのは、肌には直接付けるものではなく、地肌から1mmほど離して、まつ毛に装着する点である。

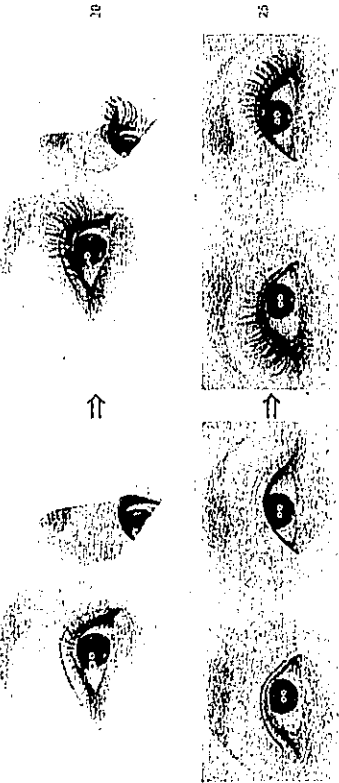
まつ毛エクステンションの持ちは、通常3〜4週間であるが、技術の良し悪しやアフターケアの差で違ってくる。

*1
まつ毛エクステンションによる危害防止の徹底について
(平成20年3月7日)
(理研発第0307/001号)

*2
まつ毛エクステンションによる危害防止の徹底及び指導
(平成22年2月18日)
(理研発0216第1号)

●おなじみではない状態

●まつ毛エクステンションをした状態



① エクステンション(人工のまつ毛)

まつ毛エクステンションに使用するまつ毛は、化学繊維などで作られており、太さは0.1〜0.25mmで0.05mm単位で分類されている。

長さは7〜15mm、カールの状態はゆるやかなものからカーブの強いものまであり、また、カラーのバリエーションも多岐にわたっている。

まつ毛(睫毛)

日本人のまつ毛の長さは外国人と比べて短く、10mm程度。また、本数も外国人と比べて少なく、片方のまつ毛が80〜100本程度、下まつ毛は50〜80本程度。太さも本数も長さも、人種の違いだけでなく、個人差が非常に大きい。

② 安全な施術を行うために

近年、まつ毛エクステンションを含めた、アイメイクアップに関するトラブルが多くなっている。

まつ毛エクステンションも、刺激に敏感で感染症などにもかかりやすい目の周辺に施術を行うので、美容師は施術に危険を伴うことを意識して、万全な状態で施術を行わなければならない。使用する器具はもとより、手指も消毒を行うことが重要である。

まつ毛エクステンションによるトラブルの原因には、使用するグルー(接着剤)の刺激によるものや、不完全な施術による接着不良から、まつ毛エクステンションが角膜表面やまぶたを刺激するといったものなどが考えられる。

いずれも、衛生管理を徹底し、眼障害の予防のための知識と正しい技術を身につけ、確実な施術を行うことが、トラブルを未然に防ぐこととなる。

③ カウンセリング

まつ毛エクステンションは、目のまわりというデリケートな部分の施術のため、高度な技術が要求される。

その技術をより確かなものにするためには、カウンセリングの質の高さが大切である。カウンセリングを正確に行うことで、トラブルやクレームを予防でき、お客さまの不安や緊張を解消するのに役立つ。

カウンセリングは大きく2つに分けられる。1つは体質や体調に関するもので、お客さまのアレルギーの有無、体調などを十分に聞き、施術ができる状態かどうかを判断する。もう1つは施術プランに関するもので、エクステンションの本数や長さなどのデザイン等を相談する。

なお、生理時、妊娠中は身体がデリケートなため、トラブルやアレルギー反応が起きやすい。

④アレルギーの有無とその状態(化粧品、食品、アルコール、花粉等を含む)

⑤過去のまつ毛エクステンションの経験や、その時の目もとの不調など

⑥その他に、常用薬、皮膚疾患、目もとのまわりの美容整形、アイメイク、視力矯正手術、コンタクトレンズの使用



まつ毛エクステンションの準備

- ④ エクステンションを装着する量 (本数) について
- ⑤ 装着する位置 (中央、目尻、全体等)
- ⑥ 長さ (7~15mm) や太さ (0.1~0.25mm)
- ⑦ カーラーの種類、出采上りの状態など

また、施術後の目とまつ毛の衛生を保つ方法や、まつ毛エクステンションをより長持ちさせるための方法など、適切なアフターケアを行うように伝えることが重要である。

アフターケアの一部

- ⑧ グルーが完全に乾くまで10時間湿度差があるので、施術直後に蒸風呂、入浴等でまつ毛を濡らさないようにする
- ⑨ まつ毛エクステンションは衛生上、1カ月以内に行付け替えが必要となる
- ⑩ エクステンションは乾燥に弱いので、「こする」などの行為は避ける

まつ毛エクステンションがすぐに落ちてしまう原因としては、装着不良などの技術的問題がある場合を多くと、まつ毛に過度な負担をかけた場合や、進行期にあるまつ毛にエクステンションを付けたことなどが考えられる。

メイクアップ

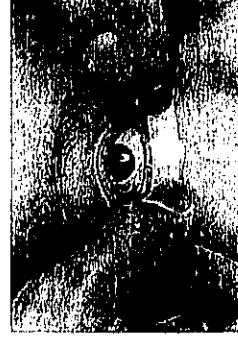
⑪ テーピング (保護テープ貼付)

まつ毛エクステンションの装着や取り外し (リムービング) をする際に、目もとの保護のために医療用の白いテープを貼る。これをテーピングといい、グルーによって下まつ毛が上まつ毛に付くことを防ぎ、さらに、エクステンションを安全に、またスピーディかつ正確に取り付けるために貼付する。

事前にマスカラなどの化粧品を落とすし、肌を精製水でしっかりと拭き、清潔にしてから行う。



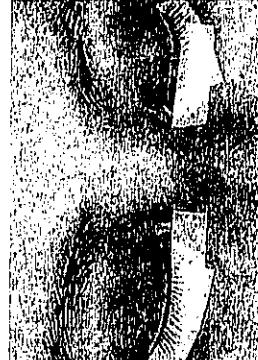
①—高容積には目を開けた状態で上を見せ、テープを上まぶなを引っ張り、テープを下まぶなのざりざりに下まつ毛が隠れるように貼る



②—テープが肌に着着していないと、施術中に下まつ毛が立ち上がり、グルーがついてしまうので、隙間がないようにする



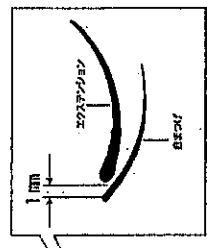
③—下まつ毛が飛び出していないが確認する



④—完成

⑫ まつ毛エクステンションの基本技術の一例

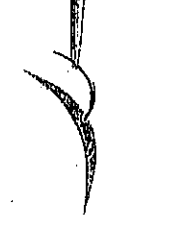
テーピングを行い、お客さまに目を閉じてもらった状態から施術を行う。



拡大図



①—適量のグルーを付けたエクステンションを、自まつ毛の横糸近くに置く



②—自まつ毛の根元から中櫃まで、20カーラーを上向きにしたエクステンションを数回清らば、グルーをなでつける



③—なでつけたエクステンションの根元を、自まつ毛の横糸近くまで戻す



④—エクステンションを自まつ毛の毛先方向に少し出し、全体を軽く押し付ける



⑤—カーラーの向きがきちんと上向きになるように修正する



◎まつ毛エクステンションのテクニックの種類



- シンダグル
増毛効果を目的にした一番基本となる技法
- ダブル
シンダグル技法で結着されたエクステンションに、さらにエクステンションを乗せ、エクステンションを乗せると、目尻側をワイドに、切れ目の印象をつくる
- クロス
ベースとなるエクステンションの上にさらに斜めにエクステンションを乗せると、目尻側をワイドに、切れ目の印象をつくる
- ブリッジ
自まつ毛の部分的な穴を補整し、ボリュームと密度を回復させるテクニック。ただし、アフターケアが難しい

◎技術上の注意事項

かならずカウンセリングを行い、施術が行えるかを判断する。
また、まつ毛エクステンションの施術中や施術後に、お客さまが違和感や、皮膚及び目に異常を感じたときは、リムービングする。リムービングしても違和感がある場合は、ただちに眼科医の診察を受けるように伝える必要がある。

- リクライニング機能のある椅子もしくはベッドで、手元に十分な明るさのある位置で施術を行う
- 接着力（グルー）を使用するので、換気に気を付け、適切な空調を保つ
- 施術を行う場所は清潔に保ち、道具類はお客さまごとに消毒されたものを使用する
- グルーが目や皮膚に付かないようにする

- グルーが硬化したときの対処
◎施術中に痛みやゆがみなどの症状が出た場合には、施術を中断し、リムービングを行う。それでも症状が治まらない場合は、ただちに眼科医の診察を受けるよう伝える
- ◎グルーが目に入ってしまった場合は、流水で目を洗い、ただちに眼科医の診察を受けるよう伝える
- また、グルーの剥離などに反応して涙が出た場合、グルーが涙に混ざり、目に入る可能性もあるので、同様にする



